

視聴覚教育

NO. 494

発行日

R7. 1. 14

編集・発行

岡崎市AVL

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

これ知ってる！？ 【フィッシング】

メールやリンクを誘導する類めいせの
ら偽サイトを騙し物見極め
し、欺行を本物見極め
が難しい。や、公最新フ
トキュリティで防げ
使用で

夢中になれるもの

形埜小学校 校長 内田 雅之

昨秋、大手ゲームメーカーが、ゲームミュージアムを開館した。家庭用ゲーム機や人気ゲームシリーズの歴史をふり返ったりゲームを体験したりできる施設で、入場は予約制。親子連れで連日にぎわっているようだ。

一九八三年に発売された某家庭用ゲーム機は大ヒット商品となり、日本の家庭へ広まった。数人の子供が集まり、一つの画面に向かってゲームを楽しむ姿がよく見られた。子供は、ステージをクリアしたりボスを倒したりして、ゲームのゴールを目指して夢中になったものだ。やがて、ゲームをクリアしゴールにたどり着くと、そのゲームへの興味は薄れ、誕生日や正月などに新しいゲームを購入していた。

しかし、今はどうだろうか。インターネットからダウンロードするタイプのゲームが主流となり、ゲームを取り巻く様相は大きく変わった。ログインボーナスを目当てに、子供は毎日欠かさずゲームを起動する。定期的に新しいステージが実装さ

れるので、ゲームをアップデートすれば新しいステージが楽しめる。新しくゲームを買わなくても、そのゲームをずっと楽しむことができる環境がある。「ゴールがない」ゲームが増えたのだ。子供が夢中になるのも、無理はない。

世界保健機構(WHO)が二〇一九年に「ゲーム障害」を国際疾病として正式に認定してから五年が経過した。日本でも「ゲーム障害」を心配しなければいけない状況が見受けられる。こども家庭庁が実施している「青少年のインターネット利用環境実態調査」では、スマートフォン所有率や、動画視聴やゲーム利用のための子供自身によるインターネット利用時間が毎年増加していることが明らかになった。ゲーム障害が疑われる子供が一定数存在することは想像に難くない。

子供をゲーム依存から守るために、家庭でのルール作りの推進など、我々は早急に対策を練らなければならぬ。忘れてはならないのは、大人がゲーム以外の夢中をどれだけ大人が提供できるかではないか。学校には夢中になれるものがたくさんある。それを提供するのが、我々の使命だ。

Ⅱ 視聴覚教育あれこれⅡ

● 自作視聴覚教材の活用を

今年度も「おかげさ映像教材研究会」による教材制作が進められています。今年度も、理科教材を一本、社会科教材を二本、道徳科教材を一本、制作しています。

これらの教材は、どれも岡崎市とその近隣の人や企業の取組を取り上げています。現地の様子を見たり携わる人たちのインタビューを聞いたたりすることで、教科書の学習内容をより身近に感じられるよう工夫されています。理科では実験が難しい内容や、見ることが困難なものを映像で補うことができます。

これまでに制作された作品は、ストリームに代わる方法でサーバー上にアップされる予定です。教室やiPadからより視聴しやすい環境となります。積極的な御活用をお願いします。

作品の題名

A班 ぐらしの中のレンズ

光の性質を利用して、

B班 持続可能な「オクオカ」を目指して

放置竹林と岡崎竹千代ポーク、

C班 岡崎の伝統工芸をまもる

受け継がれる技術と新しい意志、

D班 ゲームとの付き合い方

そのきみ！やりすぎてない？

～作品の紹介～



A班
ぐらしの中のレンズ



B班
持続可能な「オクオカ」
を目指して

実践報告Ⅱ

国語科『どろぼうつカード』を作ろう！

宮崎小学校 椎葉 絵美

小学二年生の国語科の授業で、動物についての調べ学習を行った。動物のひみつを調べる方法を児童に問いかけると「タブレットで検索すればいい。」と四人全員が答えた。以前から「インターネットで検索すればすぐに分かる」と簡単に考える児童が多かったため、今回の学習では、得た情報の真偽を確かめる力を育成したいと考えた。

授業中、タブレットで動物について調べていると、「このページには（ハムスターの中で）一番体が小さいと書いてあるけど、こっちには書いてない。」と迷う児童がいた。そこで、文部科学省のサイトから「そのじょうほう、ほんとう？」の動画を視聴した。児童からは「インターネットには、嘘もあると分かってびっくりした。」「何か調べるときは、本や新聞を読んだりする方がいい。」「という意見が上がり、情報をうのみにせず、確かめる手段はないか考える姿があった。他の文献でも調べることと合わせて、複数のサイトを比較すると安心できると伝えると、「インターネットで調べ学習をしたときは、二つ以上のページで確かめる」という学級のルールが作られた。

ハムスターの情報について迷っていた児童は他のページと比較し「ゴールデンハムスターに比べて小さい」と書き直していた。情報の真偽を確かめながら、インターネットと上手く付き合っていく児童をこれからも育てていきたい。



Ⅱレッツ・トライ！情報モラルⅡ

ミクスネットワークから学ぶ情報モラル

井田小学校 鈴木 康平

小学五年生の社会科「情報産業とわたしたちの暮らし」の学習で、ミクスネットワーク岡崎（以後、ミクス）の社会見学を行った。

社内に入ると、児童はまず実際にミクスが制作した番組を視聴した。その後、スタジオ編集室、副調整室などを見学して、番組が作られていく過程を学習した。そして、十分間の番組を作るのに、取材、打ち合わせ、撮影、編集、確認などの行程があり、多くの人の手や時間がかけられていることを知った。児童からは、「なぜそんなに多く確認などの時間が必要なのか」と質問が出た。それに対し「多くの人が視聴する映像を発信するには間違ったことを流してはいけない。また街の風景でも映したくない場所や映りたくない人がいる。そのような人に配慮をしている」とミクスの方は答え、児童は、情報発信の重みを知った。



見学を終えた児童の感想には「ふだん友達に写真や動画を簡単に送ってしまうときがあるけれど、気をつけたい」「友達と話していて、誰かが言っていたよと、確認せずに伝えてしまうことがあったから気をつけたい」などの記述があった。細心の注意を払い、内容を点検して番組作りをしているミクスの方の姿から、情報発信の責任について学んでいることが分かった。

日常の情報モラルの授業だけでなく、社会で働く人の姿から学ぶことの効果の高さを感じた。

ライブラリーだよ

視聴覚ライブラリー教材・機材を利用する時は曜日・時間に関係なく申込できるネット予約をお勧めします。まずOKリンクを開き、ホームから項目「教育施設HP」を経て視聴覚ライブラリーHPを開き、予約システムにログインしてください。

（詳細は各校に配付の『視聴覚教材目録』や学習情報部HPに掲載されている視聴覚ライブラリー教材検索システムを参照。電話予約可能。）IDとパスワードが分からない時は、学習情報主任を通して視聴覚ライブラリーまでお問い合わせください。

貸出期間は貸出日を含めて七日以内（七日目が休館日の場合は休館日以降最初の開館日まで）、貸出日二か月前から予約可能です。教材は巡回郵便での送付ができます。利用する場合は「利用目的」欄に「巡回郵便希望」と入力してください。返却時は宛先を「視聴覚ライブラリー」として送ってください。

【機材予約はお早めに】

毎年二月末から三月中旬にかけて学校行事関係での申込が多くなります。一般の利用も多い時期ですので、重なって混み合います。プロジェクターとビデオカメラの貸し出し希望やデuplicーターの利用希望が特に多いです。早めの予約をお願いします。

連絡先 電話 23-6789

